

ウナギのなぞを追って 塚本 勝巳

文章の構成

◇ 初め

○ 第一段落 — 第三段落

- ・ 話題の提示

◇ 中①

○ 第四段落 — 第七段落

- ・ 調査の第一段階（より小さなレポートセファルスを追いかめる）

◇ 中②

○ 第九段落 — 第十二段落

- ・ 調査の第二段階（予想とそれに基づく調査）

◇ 終わり

○ 第十三段落

ウナギのなぞを追って 塚本 勝巳

内容（初め）

【第一段落】

◇マリアナの海

- ・日本から真南に二千キロメートル
- ・周りに島一つ見えない海の真ん中

◇ここにやって来るのは

- ・ウナギがどんな一生を送る生き物なのかを調査するため。

○要約

マリアナの海に毎年やって来るのは、ウナギがどんな一生を送る生き物なのかを調査するため。



内容（初め）

【第二段落】

◇南の海

- ・日本中のウナギが集まってきた、いっせいにたまごを産む場所

◇ウナギの赤ちゃん

- ・海流に流されて成長しながら、日本にやって来る。

○要約

マリアナの海は、日本中のウナギが集まってたまごを産む場所。そして、ウナギの赤ちゃんは、海流に流されて成長しながら、日本にやって来る。



内容（初め）

【第三段落】

◇たまごを産む場所を見つける調査

- ・一九三〇年ごろに始まった。
- ・場所がつきとめられるまでに、八十年近くの年月がかかった。

○要約

一九三〇年ごろからたまごを産む場所を見つける調査が始まり、場所がつきとめられるまでに八十年かかった。



内容（中①）

【第四段落】

○たまごを産む場所をさがす調査

- ・より小さいウナギを追いつめる。
- ・目の細かい大きなあみを使う。

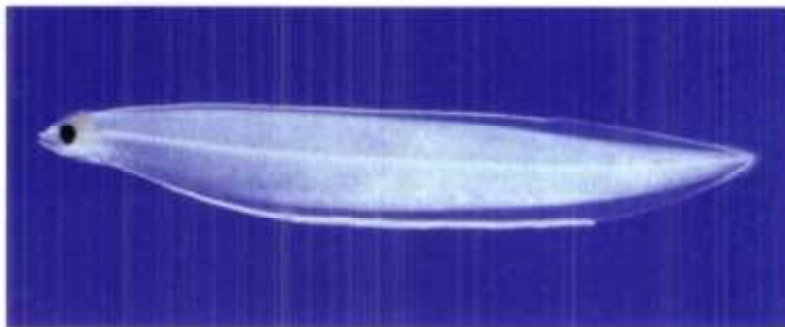
○レプトセファルス

- ・ウナギの赤ちゃん
- ・とうめい
- ・やなぎの葉のような形
- ・海の中でしずみにくい。
- ・海流に乗って運ばれやすい。

◇要約

たまごを産む場所をさがす調査は、より小さいウナギを追いつめることから始まり、ウナギの赤ちゃんであるレプトセファルスを探すことになった。

図2



内容（中①）

【第五段落】

◇最初にとれたレプトセファルス
（一九六七年）

- ・台湾の近くの海
- ・体長五十四ミリメートル
- ・生まれてからだいぶ時間がたっている。
- ・かなりのきよりを海流で流されてきたものと思われた。
- ・生まれた場所は、海流をもったさかのぼった先にあると考えられた。

○要約

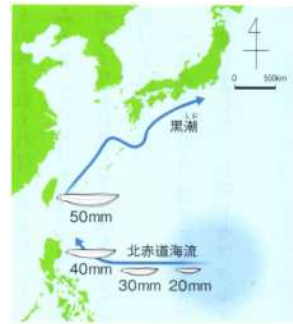


図3

一九六七年、台湾近くの海で、体長五十四ミリメートルのウナギのレプトセファルスが最初にとれた。生まれた場所は、海流をもったさかのぼった先にあると考えられた。

内容（中①）

【第六段落】

◇レプトセファルス

- ・海流に乗って運ばれる。
- ・海流の上流に行くほど、小さいものがいるはず（予想）。
- ・予想どおり、体長は、四十、三十、二十ミリメートルと小さいになっていった。

○要約

一九七三年、調査のはんいをひろげると、海流の上流にいくほど、レプトセファルスの体長が小さくなった。ていくことがわかった。

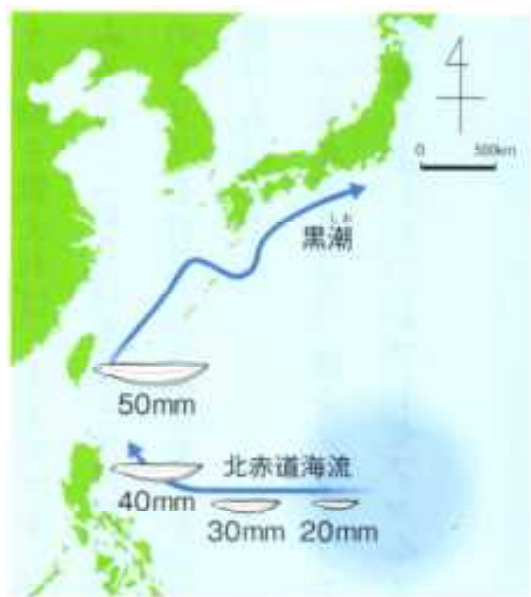


図3

内容（中①）

【第七段落】

◇マリアナ諸島の西、北赤道海流の中でとれた十ミリメートル前後のレプトセファルス（一九九一年）

- ・ 生後二十日ほどのものだと分かった。

- ・ 二十日分の距離を計算して海流をさかのぼれば、親ウナギがたまごを産んだ場所にたどり着けるはず。

○要約

一九九一年に、とれた十ミリメートル前後のレプトセファルスは、生後二十日ほどのものだと分かったの
で、親ウナギがたまごを産んだ場所
にたどり着けると予想できる。

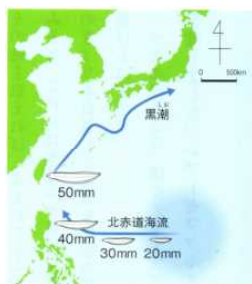


図3

内容（中①）

【第八段落】

◇これまでの調査で分かったこと①

- ・北赤道海流をさかのぼると、レプトセファルスは小さくなっている。
- ・大きな三つの海山をこえると、ぱったりととれなくなる。
- ・親ウナギがたまごを産む場所を決めるときに、三つの海山が何かの役に立っているかもしれないと考えた。

○要約

親ウナギがたまごを産む場所を決めるときに、三つの海山が何かの役に立っているかもしれないと考えた。



図 4

内容（中②）

【第九段落】

◇これまでの調査で分かったこと②

- ・レプトセファルスのたんじょう日を輪の数から計算し、こよみと照らし合わせた。
- ・多くのたんじょう日が、新月の日前後に集まっていることが分かった。
- ・ウナギは、新月のころに合わせて、いっせいにたまごを産んでいる。

○要約

ウナギは、新月のころに合わせていっせいにたまごを産む。

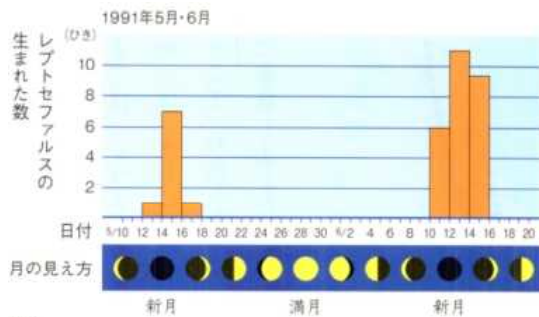


図5

内容（中②）

【第十段落】

◇ 新月の日

- ・ マリアナ諸島の西にある海山付近で体長五ミリメートル、生後わずか二日の、ウナギのレプトセファルスを見つけたことができた。
- ・ たまごをとるために、さらに場所をしぼりこまなければならな

○ 要約

新月の日、生後わずか二日のレプトセファルスを見つけたことができた。たまごをとるために、場所をしぼりこむ。



図4

内容（中②）

【第十一段落】

◇フロント

- ・塩分のこさがことなる海水のさかい目

○要約

生まれて間もないレプトセファルスはフロントのすぐ南側でとれていた。親ウナギたちは、「新月のころに、「フロントと海山の連なりが交わる地点」でたまごを産むかの調査を続ける。



図6

内容（中②）

【第十二段落】

◇ 新月の二日前の明け方

- ・ ウナギのたまごらしいものが二つとれた。
- ・ 大きさは一・六ミリメートル。
- ・ たまごは、にじ色にかがやいていた。

○ 要約

ウナギがたまごを産む場所にたり着くことができた。初めて調査に加わったときから、三十六年の年月が流れていた。

図7



内容（終わり）

【第十三段落】

◇ウナギがどこでたまごを産むかという問題

- ・ ほぼ明らかになった。
- ・ なぜこんな遠くまで卵を産みにやって来るのか。
- ・ 広い海の中でどうやってオスとメスは出会うことができるのか。
- ・ 知りたいことはふえるばかり。

○要約

ウナギがどこでたまごを産むのかという問題はほぼ明らかになった。だが、新たなに出てきたなぞをとくために、今年もマリアナの海にやってきた。

